

田尻だより

平成 21 年

10月号

Vol. 79

次の田尻便りは
11月1日発行です。

毎年、新米の時期になると
小畑君、稲穂のプレゼントの
デザイン。



今年は何か生き物にちなんだ
ものにできないものか……。

錦秋の候 田尻では
いよいよ収穫が始まり
ました。作付けの早い
農家では9月下旬のシ
ルバーウィーク頃から
稲刈が始まったようで
すが、私たち雁音の契
約農家さんたちは今か
ら佳境を迎えます。

「収穫から出荷まで」

農家さんたちの稲刈

りが始まると、私たち
も嵐のような繁忙期に
突入します。十月は、
心と体の限界まで戦い
抜く激戦月です。

各農家で収穫、乾燥、
籾摺りが終わると、一

斉に集荷の依頼が雁音
に來ます。すると、雁
音のスタッフは獰猛な

トラツク野郎に豹変し、
片っ端から米を運びま

す。これが最も過酷で、
終わりになき重労働です。

「芸術の秋」ということで、田んぼ
の生き物の絵を描くことに。



「芸術」かどうかはわかりませんが
魂はいれました!!

集荷した新米は順次、
国の定める農産物検査
を受け、倉庫に納めら
れます。そして食味や
品質、栽培記録や現場
巡回の最終点検を終え
ると、いよいよ新米の
出荷が始まるのです。
タンク、機械器具の
全清掃後、新米が出荷
場に入り、選別・精米・
袋詰めされます。殺到
した新米の予約注文を
出荷しながらも集荷や
米検査は続き、眠れぬ
秋の夜長が続きます。

米 曆 ~こめごよみ~

- 9月3日~ 18日 収穫前の農家巡回を行いました。
- 9月18日 新米出荷の最終全体会議を行いました。
- 9月27日 新米の集荷が始まりました。

9月に晴天が続き、遅れ気味であった稲の生育が、例年並みまで回復しました。早い農家では稲刈りが始まっています。10月からは順次米検査が始まります。

嫁日記

新型インフルエンザが、とうとう小野寺家にもやって來ました。最初の感染者は小学1年生のはやと。さすがに集団生活が多いと感染しやすいようです。

ほどなく、さくらも感染。連休に義弟にディズニーランドに連れて行ってもらう

約束をしていたさくらは、中止になって大泣き。1歳のあきとへの感染を心配する一方、おじいさんは母屋の居間に一步も入らないほどの厳戒態勢っぷり(自主的)。

そんなある種の緊張感に包まれて終わった9月の連休でしたが、その後は1人の感染もなく、インフルエンザは収束したのでした。